

朝まで生討論

「質的」って何ですか？

日本語教育における質的研究を問い直す

2019年 7月20日（土）21日（日）

沖縄 科学技術大学院大学（OIST）

講演，ワークショップ，パネルディスカッション，ポスターセッション，
調査研究推進委員会連携企画，チャレンジ支援委員会連携企画 予定

参加費：¥6.000

討論者

八木	三代	中山	中井	牛窪
真奈美	純平	亜紀子	好男	隆太

ディスカッサント

脇坂	古屋	林	名嶋	牲川	瀬尾	嶋津	小嶋	神吉	岡田	石澤
真彩子	憲章	貴哉	義直	波都	悠紀	百代	浩明	宇一	祥平	徹

申込開始 3月15日

日本時間正午スタート（先着順）
申込は日本語教育学会マイページより

講師

飯田
敦史



大谷
尚



数え切れないほどたくさんの量的研究者が、データから意味を取り出すことの深さと厳しさを生涯追求し続け、そのことに人生を捧げ、そして死んでいったのだと思う。そうであれば、質的研究者は、経験科学的な研究の先達としての、そのような量的研究者に自分の研究を読んでもらった時、「これは質的研究だが、この研究こそ、データから意味を取り出すことの深さと厳しさを知っている研究者が行ったものだ」という評価を受けるように、自らの研究を構成し、実施するべきである。

大谷尚 (2019) 「質的研究の考え方—研究方法論からSCATIによる分析まで—」後書きより

お問合せは下記までお願いします
公益社団法人日本語教育学会 支部活動委員会
Tel: 03-3262-4291 Email: shibu@nkg.or.jp

「日本語教育における質的研究を問い直す」

プログラム（予定）

7/20（土）

9:30～11:30 プレセッション

調査研究推進委員会連携企画 ワールドカフェ

チャレンジ支援委員会連携企画 セミナー

13:00～15:00 講演 大谷 尚（名古屋大学教育発達科学研究科教授 2018年度現在）

「質的研究とは何かーそのパラダイム・デザイン・方法・評価ー」

15:10～18:45 討論パネル

「日本語教育における質的研究の現状と課題」

パネリスト：八木 真奈美・三代 純平・中山 亜紀子・牛窪 隆太・中井 好男・

飯田 敦史

ディスカッサント：石澤 徹・岡田 祥平・神吉 宇一・小林 浩明・嶋津 百代・

瀬尾 悠紀子・牲川 波都季・名嶋 義直・林 貴哉・古屋 憲章・脇坂 真彩子

19:00～懇親会

7/21（日）

9:00～10:00 講演 飯田 敦史（群馬大学 准教授）

「ヴォイスとアイデンティティから見る第二言語習得研究

ー新しいテキスト分析に向けてー」

10:10～11:30 ポスターセッション

岡田 祥平・小林 浩明・瀬尾 悠紀子・林 貴哉・古屋 憲章・脇坂 真彩子

11:30～17:00 ワークショップ 大谷尚

「質的研究の研究デザイン」

17:00～17:30 閉会式